CFOの北村です。

それでは、2024年3月期の決算についてご説明いたします。2ページをご覧ください。

目次

NOMURA

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P2-3)
- 2024年3月期決算の概要(P4)
- セグメント情報(P5)
- 営業部門(P6-8)
- インベストメント・マネジメント部門(P9-10)
- ホールセール部門 (P11-13)
- 金融費用以外の費用(P14)
- 強固な財務基盤を維持(P15)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P17)
- バリュー・アット・リスク(P18)
- 連結決算概要(P19)
- 連結損益(P20)
- 連結決算：主な収益の内訳(P21)
- 連結決算：セグメント情報と地域別情報　税前利益(損失)(P22)
- セグメント「その他」(P23)
- 営業部門関連データ(P24-27)
- インベストメント・マネジメント部門関連データ(P28-29)
- ホールセール部門関連データ(P30)
- 人員数(P31)

エグゼクティブ・サマリー(1/2)

NOMURA

2024年3月期通期の決算ハイライト

- **税前利益：2,739億円(前年比83%増)、当期純利益[1]：1,659億円(前年比79%増)、EPS[2]：52.69円、ROE：5.1%**
- **3セグメントの税前利益は2,368億円(前年比123%増) ～すべてのビジネス部門が増益を達成**
- **営業部門の税前利益は2016年3月期以来、8年ぶりの高水準**
  - 資産管理によるストック型ビジネスへのシフトが進み、ストック収入が積み上がる一方、コスト水準を引き下げることで収益構造の安定化が進捗
- **インベストメント・マネジメント部門の運用ビジネスは着実に成長**
  - 資金純流入(3.8兆円)、運用資産残高(89兆円)ともに2025年3月期KPI目標を上回って進捗。投資損益も前年比で倍増
- **ホールセール部門は下半期に業績モメンタムが回復**
  - グローバル・マーケッツはスプレッド・プロダクトやエクイティ・プロダクトが回復し、前年比8%増収
  - インベストメント・バンキングは日本関連ECMやアドバイザリーを中心にすべてのビジネスで収益が伸長し、比較可能な2017年3月期以降で最高の収益
- **一株当たり配当金：期末15円、年間23円**

	2024年3月期 通期	2023年3月期 通期	前年同期比
収益(金融費用控除後)	1兆5,620億円	1兆3,356億円	17%
税前利益(損失)	2,739億円	1,495億円	83%
当期純利益(損失)[1]	1,659億円	928億円	79%
EPS[2]	52.69円	29.74円	77%
ROE[3]	5.1%	3.1%	

税前利益(損失)：セグメント情報

	2024年3月期 通期	2023年3月期 通期	前年同期比
営業部門	1,227億円	335億円	3.7x
インベストメント・マネジメント部門	602億円	435億円	38%
ホールセール部門	539億円	294億円	84%
3セグメント合計	2,368億円	1,064億円	123%
その他	474億円	734億円	-35%
営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-103億円	-303億円	-
税前利益(損失)合計	2,739億円	1,495億円	83%

2

1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)　2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)

まず、通期です。
左下にありますように、収益は1兆5,620億円、前年比17%の増収、税前利益は2,739億円、前年比83%の増益、EPSは52円69銭、ROEは5.1%となりました。

上半期は、米国大手地銀の破綻や米国の債務上限問題で始まり、各国中央銀行の金融政策引き締めや原油価格の上昇もあって、債券市場では不透明な環境が続きました。株式市場は総じて堅調でしたが、終盤にかけて、金利高止まりに対する警戒感から、ハイテク株を中心に調整が入り、神経質な展開となりました。
下半期に入り、米国でインフレ鈍化が確認され、過去2年間、急ピッチで進んだ利上げにもようやく出口が見え始めました。2024年に入り、FRBが3回の利下げを示唆したことで、市場参加者の取引が活発になり、3月中旬以降はやや神経質な展開ではありましたが、総じて良好な事業環境であったと言えます。

日本では、脱デフレの動きや日銀の金融政策変更に対する思惑、日本企業の収益性を高める構造改革など、日本市場への関心が急速に高まりました。日経平均株価が高値を更新し、2024年の新NISAをきっかけに、「貯蓄から資産形成の流れ」がいよいよ本格的に始まった印象があります。
このような環境下、3セグメント税前利益の合計は2,368億円、前年比123%増、すべてのビジネス部門が増益となりました。

営業部門の税前利益は1,227億円、前年比3.7倍と、2016年3月期以来、8年ぶりの好決算となりました。マーケットの活況もあって、昨年の春に行った大規模な人員再配置を伴う新体制が、想定以上のスピードで軌道に乗り、全てのプロダクト・サービスで、募集買付額が増えました。資産管理によるストック型ビジネスへのシフトも、着実に進んでいます。8年前と比較すると、安定収益であるストック収入は約2倍になり、一方で部門費用を1割近く引き下げた結果、ストック収入費用カバー率は当時の28%から、今期、55%に増加しています。

インベストメント・マネジメント部門では運用ビジネスが確実に成長しています。年間の資金純流入は3.8兆円、運用資産残高は89兆円と、いずれも2025年3月期のKPI目標を上回っており、安定収益である事業収益は前年比で14%増加しました。また、投資損益も倍増し、結果としての税前利益は602億円、前年比38%の増益となりました。

ホールセール部門の税前利益は539億円、前年比84%の増益となりました。上半期は海外ビジネスで苦しい展開が続きましたが、下半期に入って、業績モメンタムが回復しました。グローバル・マーケッツでは、証券化商品やクレジットといったスプレッド・プロダクトや、エクイティ・プロダクトが回復し、前年比8%の増収です。
インベストメント・バンキングのグローバル・フィープールは、2022年3月期のピークから4割以上減少したままという厳しい環境でしたが、日本における強固な顧客基盤とグローバル・フランチャイズの強みを活かし、数多くの案件をサポートすることが出来ました。結果として、インベストメント・バンキング収益は、比較可能な2017年3月以降で最高の収益となりました。

尚、3月末を基準とする配当金は、一株当たり15円とさせて頂きます。その結果、年間の配当金は23円となります。

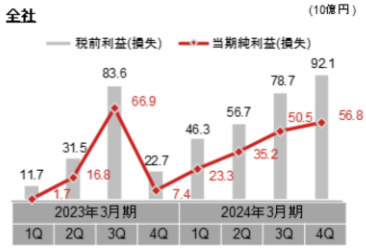
エグゼクティブ・サマリー(2/2)

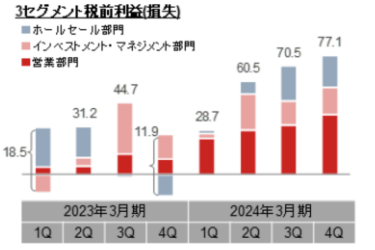
NOMURA

2024年3月期第4四半期の決算ハイライト

- **収益：4,451億円(前四半期比11%増)、税前利益：921億円(同17%増)、当期純利益[1]：568億円(同12%増)、EPS[2]：18.02円、ROE[3]：6.8%**
- **3セグメントの税前利益は771億円(前四半期比9%増) ～営業部門は2022年4-6月期をボトムに増益モメンタムが継続、インベストメント・マネジメント部門も運用ビジネスが好調**
  - 営業部門
    - ✓ 安定収益であるストック収入は過去最高を更新、国内株式市場の活況や新NISA制度の開始による投資家センチメントの高まりを背景に、フロー収入等も伸長
    - ✓ 収益が前四半期比で伸びるなか、費用を抑制、税前利益は2015年4-6月期以来の高水準
  - インベストメント・マネジメント部門
    - ✓ アセットマネジメント・ビジネスが好調 ～資金純流入を伴って運用資産残高(89兆円)は過去最高を更新、安定収益である事業収益も比較可能な2021年4月(部門設立)以降で最高
  - ホールセール部門
    - ✓ グローバル・マーケッツはすべての地域で前四半期比増収、インベストメント・バンキングも比較可能な2017年3月期以降で最高の四半期収益
    - ✓ 業績に応じた変動費増加に加え、業者との取引における決済不履行に伴う貸倒引当(約140億円)の計上や期末要因等で、部門費用が増加

税前利益(損失)、当期純利益(損失)[1]の推移





1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

3

続いて、第4四半期の決算についてご説明します。3ページをご覧ください。
なお、いまから申し上げるパーセンテージは、すべて第3四半期との比較となります。

まず全社ですが、収益は4,451億円、11%の増収、税前利益は921億円、17%の増益、当期純利益は568億円、12%の増益、EPSは18円2銭、ROEは6.8%となりました。

右下にありますように、主要3セグメントの税前利益は771億円、特に営業部門は、2022年4-6月期をボトムに増益モメンタムが継続し、インベストメント・マネジメント部門も運用ビジネスが好調でした。

それでは、各ビジネスの第4四半期の状況について、ご説明いたします。
6ページをご覧ください。

2024年3月期決算の概要

NOMURA

決算ハイライト

(10億円、EPS及びROEを除く)

	23年3月期	2024年3月期						23年3月期	24年3月期	
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前四半期比	前年同期比	通期	通期	前年同期比
収益合計(金融費用控除後)	324.9	348.9	367.8	400.2	445.1	11%	37%	1,335.6	1,562.0	17%
金融費用以外の費用	302.2	302.6	311.0	321.5	353.0	10%	17%	1,186.1	1,288.2	9%
税前利益(損失)	22.7	46.3	56.7	78.7	92.1	17%	4.1x	149.5	273.9	83%
当期純利益(損失)[1]	7.4	23.3	35.2	50.5	56.8	12%	7.7x	92.8	165.9	79%
EPS[2]	2.34円	7.40円	11.21円	16.10円	18.02円	12%	7.7x	29.74円	52.69円	77%
ROE[3]	0.9%	2.9%	4.3%	6.2%	6.8%			3.1%	5.1%	

1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

セグメント情報

NOMURA

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

(10億円)

		23年3月期	2024年3月期						23年3月期	24年3月期	
		4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前四半期比	前年同期比	通期	通期	前年同期比
収益	営業部門	75.3	92.1	98.9	102.6	108.8	6%	44%	300.2	402.4	34%
	インベストメント・マネジメント部門	37.8	26.5	45.1	38.9	43.6	12%	15%	128.6	154.1	20%
	ホールセール部門	178.8	190.9	204.1	217.0	254.2	17%	42%	772.4	866.1	12%
	3セグメント合計	292.0	309.4	348.1	358.6	406.5	13%	39%	1,201.1	1,422.7	18%
	その他(※)	37.9	43.8	17.0	54.6	34.4	-37%	-9%	164.7	149.7	-9%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-4.9	-4.3	2.7	-13.0	4.2	-	-	-30.3	-10.3	-
	収益合計(金融費用控除後)	324.9	348.9	367.8	400.2	445.1	11%	37%	1,335.6	1,562.0	17%
税前利益(損失)	営業部門	9.8	22.9	29.0	31.9	38.8	21%	3.9x	33.5	122.7	3.7x
	インベストメント・マネジメント部門	16.4	3.6	23.2	15.6	17.8	14%	9%	43.5	60.2	38%
	ホールセール部門	-14.2	2.1	8.3	23.0	20.6	-10%	-	29.4	53.9	84%
	3セグメント合計	11.9	28.7	60.5	70.5	77.1	9%	6.5x	106.4	236.8	123%
	その他(※)	15.7	21.9	-6.5	21.2	10.8	-49%	-31%	73.4	47.4	-35%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-4.9	-4.3	2.7	-13.0	4.2	-	-	-30.3	-10.3	-
	税前利益(損失) 合計	22.7	46.3	56.7	78.7	92.1	17%	4.1x	149.5	273.9	83%

(※) 第4四半期の「その他」に関する補足

- 経済的ヘッジ取引に関連する損失(0.4億円)
- デリバティブに関する自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する利益(1億円)

営業部門

NOMURA

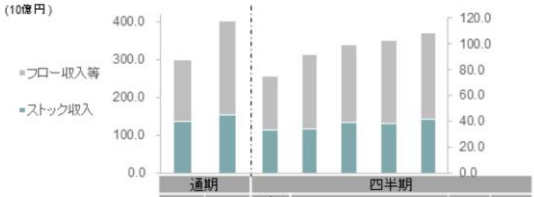
収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)

	通期		四半期						
	23年3月期	24年3月期	23年3月期 4Q	2024年3月期 1Q	2024年3月期 2Q	2024年3月期 3Q	2024年3月期 4Q	前四半期比	前年同期比
収益合計(金融費用控除後)	300.2	**402.4**	75.3	92.1	98.9	102.6	**108.8**	6%	44%
金融費用以外の費用	266.7	**279.7**	65.5	69.1	69.9	70.7	**70.0**	-1%	7%
税前利益/損失	33.5	**122.7**	9.8	22.9	29.0	31.9	**38.8**	21%	3.9x

収益の内訳

(10億円)



	通期		四半期						
	23年3月期	24年3月期	23年3月期 4Q	2024年3月期 1Q	2024年3月期 2Q	2024年3月期 3Q	2024年3月期 4Q	前四半期比	前年同期比
ストック収入[1]	134.4	**153.5**	33.5	34.2	38.9	38.6	**41.8**	8%	25%
フロー収入等[2]	165.8	**248.9**	41.8	57.8	60.1	64.0	**67.0**	5%	60%
収益合計(金融費用控除後)	300.2	**402.4**	75.3	92.1	98.9	102.6	**108.8**	6%	44%

決算のポイント

<通期>

- 収益: 4,024億円 (前年比34%増)
- 税前利益: 1,227億円 (前年比3.7倍)
  - 税前利益は2016年3月期以来、8年ぶりの高水準 ～資産管理によるストック型ビジネスへのシフトが進み、ストック収入が積み上がる一方、コスト水準を引き下げることで収益構造の安定化が進捗
  - 期初に実施したお客様ニーズにより適切にお応えするための人員再配置が奏功、相場の活況も追い風となり、フロー収入等は前年比で5割増加
  - ストック資産やフロービジネス顧客数は2025年3月期KPI目標を上回る水準

<第4四半期>

- 収益: 1,088億円 (前四半期比6%増、前年同期比44%増)
- 税前利益: 388億円 (前四半期比21%増、前年同期比3.9倍)

ストック収入

- 安定収益であるストック収入は過去最高を更新し、ストック収入費用カバー率は60%に上昇
- ストック資産純増を伴って、ストック資産(23兆円)は過去最高を更新

フロー収入等

- 国内株式市場の活況や新NISA制度の開始による投資家センチメントの高まりを背景に、株式取引や投信買付が大幅に上昇

■資産拡大項目	2024年3月期 3Q	2024年3月期 4Q
- 投信純増[3]	+156億円	+2,158億円
- 投資一任純増[3]	+49億円	+64億円
- 現金本券差引[4]	+1兆2,202億円	-6,555億円
- ストック収入費用カバー率[5]	55%	60%

1. 預金から発生する収入や間接的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベルフィー等)、2023年3月期4Q以前の数字を遡及修正
2. 取引に付随して発生する収入(ブローカレッジ収入、コンサルティング関連収入)、ローン関連以外の金融収益等
3. リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループが対象
4. 地域金融機関を除く、現金および本券の受入から払出を差引
5. ストック収入を金融費用以外の費用で除したもの

6

営業部門の収益は1,088億円、6%の増収、税前利益は388億円、21%の増益となりました。

安定収益であるストック収入は、半期ごとに認識する助言フィーもあって、418億円と過去最高を更新、ストック収入費用カバー率は60%となりました。

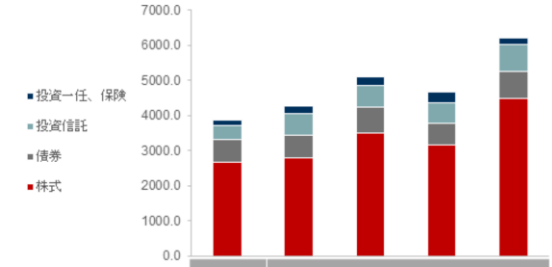
フロー収入は670億円。パートナー再配置の効果に加え、国内株式市場の活況や新NISA制度の導入で投資家のセンチメントが高まり、特に株式の売買や投信買付が大幅に増加しています。

プロダクト別の募集買付状況について、7ページでご説明します。

営業部門：幅広い商品・サービスで募集買付額が大きく伸長

NOMURA

総募集買付額[1]



(10億円)	23年3月期	24年3月期			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
株式	2,669.6	2,788.5	3,484.8	3,146.7	**4,491.3**
債券[2]	656.5	651.5	746.8	617.8	**749.3**
投資信託	382.1	597.4	619.8	605.0	**764.2**
投資一任	82.8	101.1	126.0	118.9	**125.5**
保険	87.2	120.9	120.5	164.9	**82.0**
総募集買付額[1]	3,878.2	4,259.4	5,097.9	4,653.4	**6,212.2**

総募集買付額[1]は前四半期比33%増

- 株式：前四半期比43%増
  - プライマリー株式募集額[1]は前四半期から減少(885億円、前四半期比77%減)も、国内株式市場の活況や新NISA導入による投資機運の高まりを受け、セカンダリー株式買付額が大幅に伸長
- 債券販売額：前四半期比21%増
  - プライマリー案件の貢献により、外債販売額が増加
- 投資信託：前四半期比26%増
  - 新規設定のプライベート・アセットやグローバル株式等を中心に、投信募集買付額が増加
- 投資一任契約：前四半期比6%増
  - SMAの契約額が前四半期から増加
- 保険販売額：前四半期比50%減
  - 保険販売が好調だった第1～第3四半期からは減少も、引き続き、高水準を維持

投信の販売上位ファンド(2024年1月～3月)

1. ブラックストーン・プライベート・エクイティ・ストラテジーズ投信
2. アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信
3. 野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)

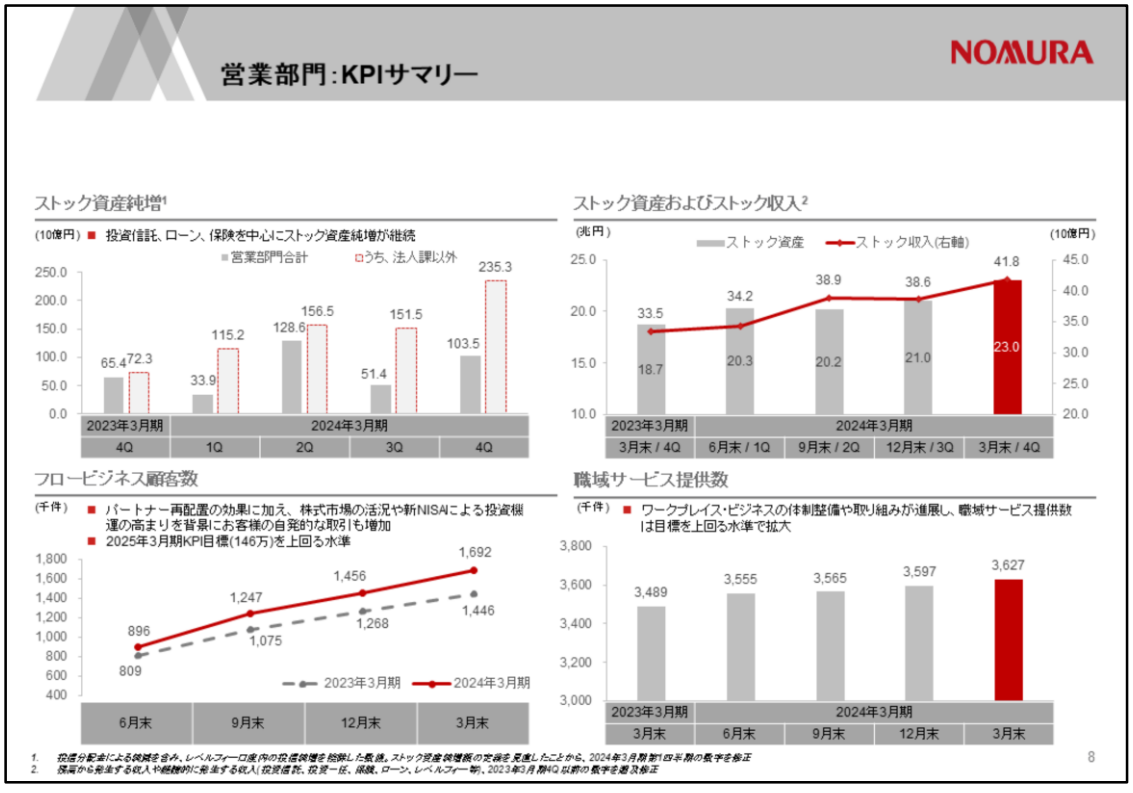
1. リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループ、ネット&コール、ほっとダイレクトが対象
2. 債券の募集買付額の範囲を見直し、2024年3月期1Q以前の数字を新しい定義に合わせて遡及修正

7

総募集買付は6.2兆円と、前期から33%の大幅上昇です。
特に株式は4.5兆円と43%増加、セカンダリー株式の買付額が大きく伸びています。

また、投資信託は約7,600億円と、26%増加しました。右下にあるように、プライベート・エクイティに投資する公募投信や、グローバル株式投信に資金が流入しました。

続きまして、8ページにお進みください。KPIの進捗です。



左上のストック資産純増は、1,035億円です。法人課は損益確定の売りがあって純減となりましたが、法人課を除くベースでは2,353億円と、良いモメンタムが続いています。右上のストック資産は23兆円と過去最高を更新し、安定収益であるストック収入の押し上げに繋がっています。

左下のフロービジネス顧客数は約169万件と、2025年3月期のKPI目標を上回って着地しました。パートナーの再配置の効果はもちろん、株式市場の活況や新NISAによる投資機運の高まりでお客様の自発的な取引も増えました。

ワークプレイス・ビジネスと呼んでいる、職域ビジネスも順調で、サービスの提供数は約363万件まで積み上がりました。

続いて、インベストメント・マネジメント部門です。9ページにお進みください。

インベストメント・マネジメント部門

NOMURA

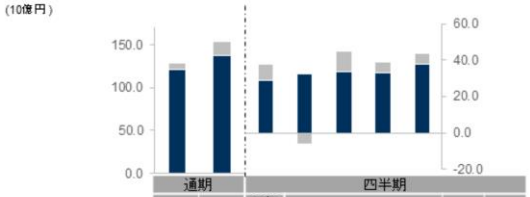
収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)

	通期		四半期						
	23年3月期	24年3月期	23年3月期	2024年3月期				前四半期比	前年同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	128.6	**154.1**	37.8	26.5	45.1	38.9	**43.6**	12%	15%
金融費用以外の費用	85.1	**93.9**	21.5	22.9	21.9	23.3	**25.8**	10%	20%
税前利益/損失	43.5	**60.2**	16.4	3.6	23.2	15.6	**17.8**	14%	9%

収益の内訳

(10億円)



	通期		四半期						
	23年3月期	24年3月期	23年3月期	2024年3月期				前四半期比	前年同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
事業収益[1]	120.7	**137.2**	28.7	32.5	33.4	33.3	**38.0**	14%	32%
投資損益[2]	7.9	**16.9**	9.1	-6.0	11.7	5.6	**5.6**	-1%	-39%
収益合計(金融費用控除後)	128.6	**154.1**	37.8	26.5	45.1	38.9	**43.6**	12%	15%

決算のポイント

<通期>

- 収益： 1,541億円 (前年比20%増)
- 税前利益： 602億円 (前年比38%増)
  - 安定収益である事業収益は前年比14%増と、着実に伸長
    - 資金純流入(3.8兆円)、運用資産残高(89兆円)ともに2025年3月期KPI目標を上回る高水準
  - 投資損益は倍増 ～アメリカン・センチュリー・インベストメンツ(以下、ACI)関連損益が大幅に改善

<第4四半期>

- 収益： 436億円 (前四半期比12%増、前年同期比15%増)
- 税前利益：178億円 (前四半期比14%増、前年同期比9%増)

事業収益

- 収益： 380億円 (前四半期比14%増、前年同期比32%増)
  - アセットマネジメント・ビジネスは好調 ～投資信託ビジネスでは良好な市場環境や投資意欲の拡大を背景に日本関連ETFやプライベート・アセットなど幅広い商品に資金が流入、投資顧問ビジネスでは海外顧客からの資金流入が継続
  - 野村バブコックアンドブラウンは、航空機リースの販売件数増加により、前四半期比で増収

投資損益

- 収益： 56億円 (前四半期比1%減、前年同期比39%減)
  - ACI関連損益および野村キャピタル・パートナーズ投資先企業の評価損益は前四半期比で横ばい

1. 投資損益を除き、アセット・マネジメント事業(ACI関連損益を除く)及び野村バブコックアンドブラウンの航空機リース関連事業の収益及びにプライベート・エクイティ等の投資事業から得られるGP報酬報酬を含む収益で構成
2. ACI関連損益、プライベート・エクイティおよびクレジット等の投資事業及びにあ必をフィナンシャル・グループの投資損益を含む投資に起因する収益(公正価値の変動、資本関連コスト、運用報酬、配当金を含む)で構成

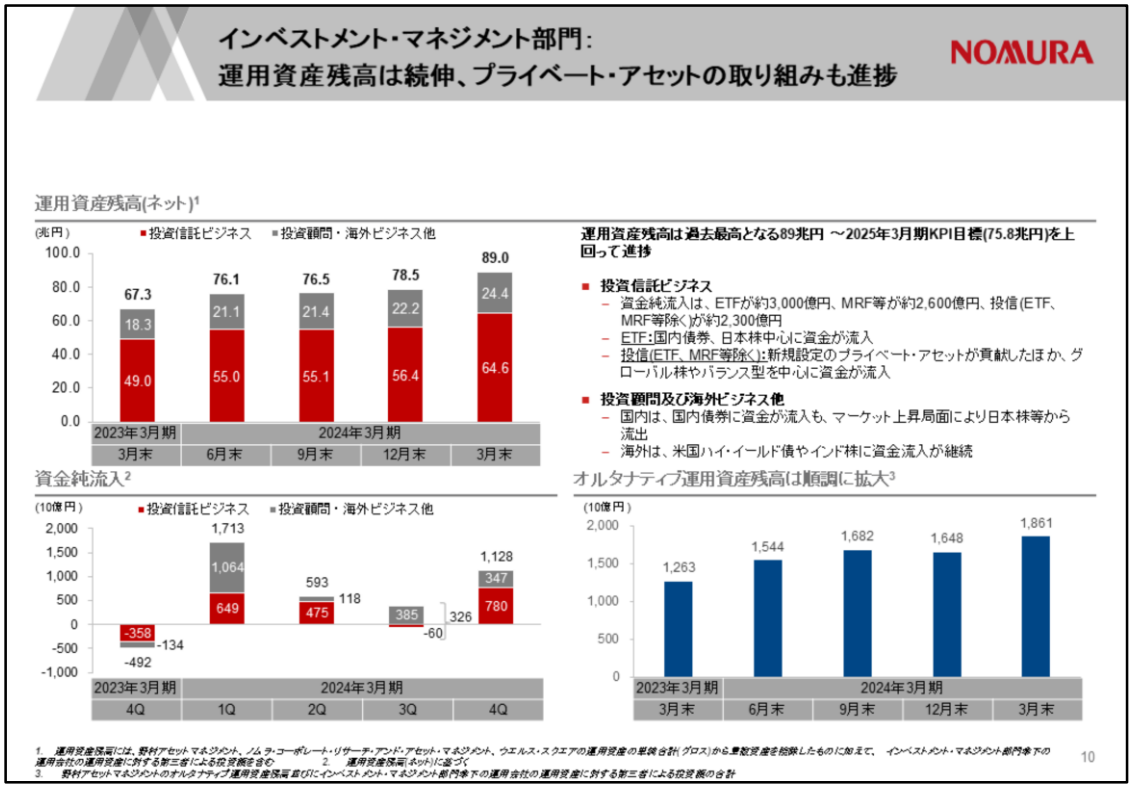
9

収益は436億円、12%の増収、税前利益は178億円、14%の増益となりました。

左下にありますように、安定収益である事業収益は380億円と、2021年4月の部門設立以降で最高の四半期収益です。アセットマネジメント・ビジネスが好調だったこと、また、野村バブコックアンドブラウンも航空機リースの販売件数が伸び、増収に貢献しました。

投資損益は56億円と、前期並みの水準です。

それでは、事業収益の元となっているアセットマネジメント・ビジネスの状況について10ページでご説明します。



左上にありますように、3月末の運用資産残高は89兆円と、5四半期連続で過去最高を更新し、2025年3月末のKPI目標(75.8兆円)を大きく上回っています。

左下にありますように、今期の資金純流入は約1.1兆円、うち、投信ビジネスは約7,800億円の流入、投資顧問・海外ビジネスで約3,500億円の流入です。

投信ビジネスでは、国内債券や日本株等のETFに合計約3,000億円の流入、MRF等のマネーファンドも約2,600億円の流入となっており、個人の待機資金は積み上がっています。ETFやMRFを除く投信も、プライベート・エクイティに投資する公募投信やグローバル株投信を中心に約2,300億円の流入となりました。

投資顧問・海外ビジネスでは、マーケット上昇局面で日本株運用から流出しましたが、海外では、米国ハイ・イールド債やインド株運用に流入が続いています。

右下にありますように、オルタナティブ運用資産残高は1.9兆円、先ほど申し上げたプライベート・エクイティ投信も貢献し、順調に積み上がっています。

次にホールセール部門です。11ページをご覧ください。

ホールセール部門

NOMURA

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失[1]

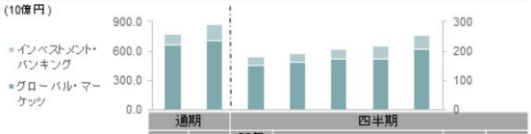
(10億円)	通期		四半期						
	23年3月期	24年3月期	23年3月期	2024年3月期				前四半期比	前年同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	772.4	**866.1**	178.8	190.9	204.1	217.0	**254.2**	17%	42%
金融費用以外の費用	743.0	**812.2**	193.1	188.7	195.8	194.0	**233.6**	20%	21%
税前利益/損失	29.4	**53.9**	-14.2	2.1	8.3	23.0	**20.6**	-10%	-
経費率	*96%*	***94%***	*108%*	*99%*	*96%*	*89%*	***92%***		
収益/調整リスク・アセット[2]	*6.5%*	***6.8%***	*5.8%*	*6.2%*	*6.4%*	*6.7%*	***7.9%***		

決算のポイント

<通期>
- 収益：8,661億円(前年比12%増)、税前利益：539億円(前年比84%増)
  - グローバル・マーケッツは前年比8%増収　～スプレッド・プロダクトやエクイティ・プロダクトが回復
  - インベストメント・バンキングは前年比37%増収　～日本関連ECMやアドバイザリーを中心にすべてのビジネスで収益が伸長

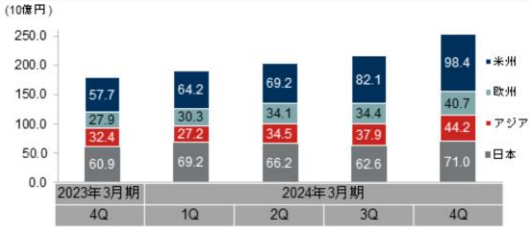
<第4四半期>
- 収益：2,542億円(前四半期比17%増、前年同期比42%増)
  - グローバル・マーケッツはすべての地域で前四半期比増収　～米州・欧州の金利や証券化商品、日本・アジアのエクイティ・プロダクト中心に収益が伸長
  - インベストメント・バンキングも好調だった前四半期を上回る高収益
- 税前利益：206億円(前四半期比10%減)
  - 業績に応じた変動費増加に加え、業者との取引における決済不履行に伴う貸倒引当（約140億円）の計上や期末要因等で、部門費用が増加

ビジネスライン別の収益



	通期		四半期						
	23年3月期	24年3月期	23年3月期	24年3月期				前四半期比	前年同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
グローバル・マーケッツ	656.3	**707.1**	149.3	160.4	170.7	171.6	**204.4**	19%	37%
インベストメント・バンキング	116.1	**159.0**	29.6	30.5	33.4	45.4	**49.8**	10%	68%
収益合計(金融費用控除後)	772.4	**866.1**	178.8	190.9	204.1	217.0	**254.2**	17%	42%

地域別収益



1. 米国顧客取引に起因する損失について、一部債権の回収可能額が合理的に見積もられるようになった為、2023年3月期3Qに111億円（うち91億円はトレーディング収益、19億円は貸倒引当金の戻入）の利益を計上
2. ホールセール部門収益合計(金融費用控除後、未稼動を、ホールセール部門が使用する調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)で除したもの。調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)は米国会計原則に基づかない指標で、(1)バーゼル3規制のリスク・アセットと、(2)バーゼル3規制の資本調整項目を当社が内部で設定する最新資本比率で除して算出したリスク・アセット相当額の合計

11

ホールセール部門の収益は2,542億円、17%の増収となりました。

期の前半は利下げ期待を支えとした市場参加者の楽観ムードで始まりましたが、期の終盤にかけて、インフレ再燃や地政学リスクへの警戒感が広がりました。そのようななか、お客様をしっかりとサポートし、グローバル・マーケッツ、インベストメント・バンキングともに増収となったほか、右下にありますように、すべての地域が収益を伸ばしております。

一方で、費用は2,336億円と、20%増加しました。業績に応じた変動費の増加以外に、今期は幾つかの特殊要因や期末要因がありました。具体的には、業者との取引における決済不履行で約140億円の貸倒引当を行ったこと、当社の株価上昇に伴い、株価に連動する株式報酬の費用が増えたこと、そして期末要因でITなど無形固定資産の除却費用が膨らんだことで、合計・200億円強のコスト増となっています。その結果、ホールセール部門の税前利益は206億円、10%の減益となりました。

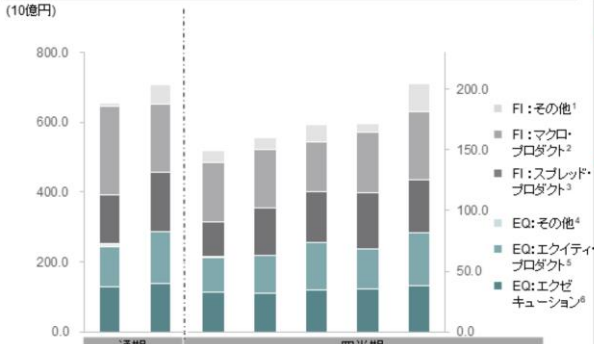
尚、第4四半期の経費率は92%ですが、いまご説明した特殊要因や期末要因を除くと、80%台前半でコントロール出来ています。

では、ビジネスラインごとに、説明します。12ページをご覧ください。

ホールセール部門:グローバル・マーケッツ

NOMURA

収益合計(金融費用控除後)



	通期		四半期						
	23年3月期	24年3月期	23年3月期	2024年3月期				前四半期比	前年同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
フィクスト・インカム(FI)	402.4	**420.3**	87.5	97.4	96.9	103.5	**122.6**	18%	40%
エクイティ(EQ)	253.9	**286.8**	61.8	63.0	73.8	68.2	**81.9**	20%	32%
グローバル・マーケッツ	656.3	**707.1**	149.3	160.4	170.7	171.6	**204.4**	19%	37%

決算のポイント

<通期>

- 収益:7,071億円 (前年比8%増)
  - フィクスト・インカムは、マクロ・プロダクトが減収も、堅調なスプレッド・プロダクトや海外富裕層ビジネス等の貢献により、前年比4%増収
  - エクイティは前年比13%増収 ～すべての地域でエクイティ・プロダクトが増収、エグゼキューションは市場出来高の増加を背景に日本が増収

<第4四半期>

- 収益:2,044億円 (前四半期比19%増、前年同期比37%増)
  - グローバル・マーケッツはすべての地域が前四半期比で増収
  - フィクスト・インカムは顧客アクティビティが増加した欧州・米州が回復、エクイティは日本・アジアを中心に収益が伸長

フィクスト・インカム

- 収益:1,226億円 (前四半期比18%増、前年同期比40%増)
  - マクロ・プロダクト:エージェンシーモーゲージの回復やSSA債の貢献により、欧米の金利ビジネスが増収。アクティビティが低下したアジアFX/エマージング、日本金利ビジネスが減収
  - スプレッド・プロダクト:証券化商品は5四半期連続で増収。クレジットは急激な円安進行を受け、外債投資が減速した日本が減収、中国マーケットの低調が続いたアジアも減収

エクイティ

- 収益:819億円 (前四半期比20%増、前年同期比32%増)
  - エクイティ・プロダクト:日本は保有株式の売却案件、CBのプライマリー案件が寄与し大幅増収。欧州およびアジアも増収
  - エグゼキューション:日本は大型売出案件により高水準だった前四半期の収益を維持。海外は増収

1. インターナショナル・ウェルス・マネジメント、インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、その他手数料に帰属しない債務　2. 金利プロダクト、為替/エマージング　3. クレジット、証券化商品
4. インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、米国販売手数料に起因する債務;米国販売手数料に起因するトレーディング損失に関する債権の一部について回収可能性が合理的に見積もられるようになった為、 2023年3月期3Qに31億円の利益をトレーディング債務として計上)　5. キャッシュおよびデリバティブのトレーディング、プライム・サービス　6. 株式執行ビジネス

12

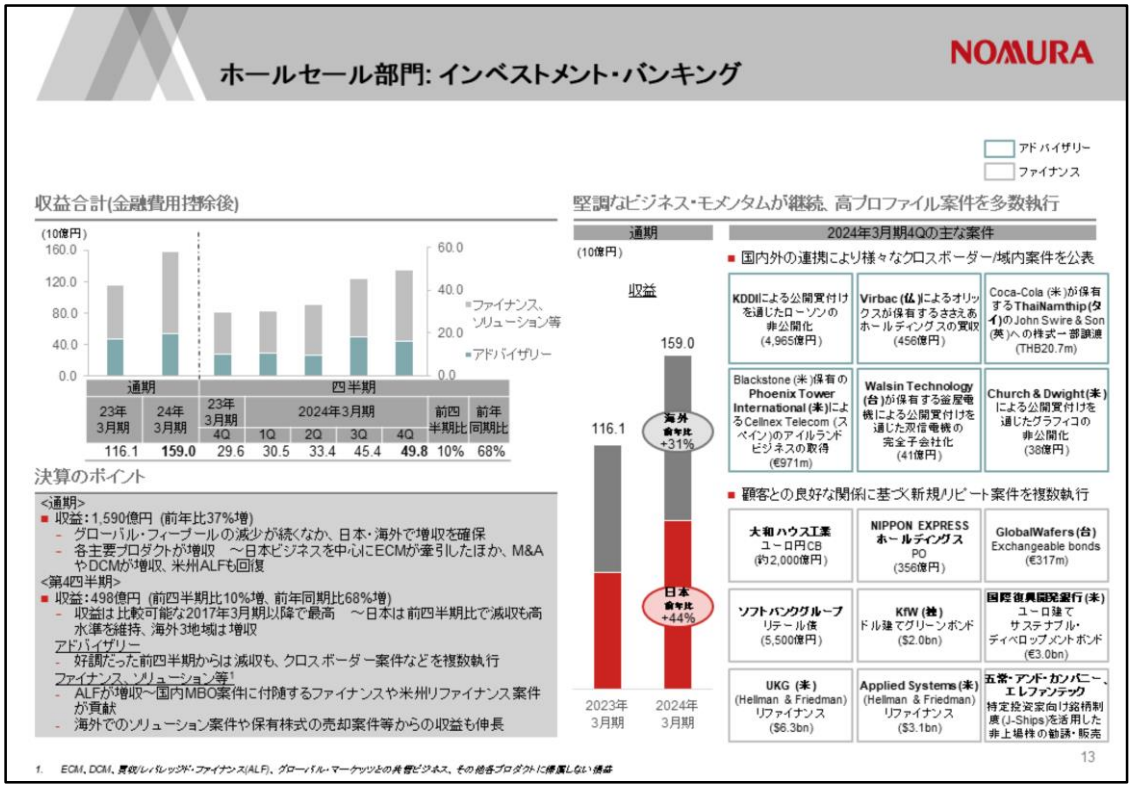
まず、グローバル・マーケッツ収益は2,044億円、19%の増収です。

うち、フィクスト・インカムは1,226億円、市場参加者のアクティビティが回復した欧州・米州を中心に18%の増収となりました。

商品別に見ますと、マクロ・プロダクトは増収。エージェンシー・モーゲージの回復やSSA債、いわゆるソブリン債が貢献し、欧州・米州の金利ビジネスが増収となりました。スプレッド・プロダクトは証券化商品が5四半期連続で収益が増加、一方でクレジットは急激な円安の進行で外債投資が減少した日本が減収、アジアも中国市場が振るわず減収となりました。

エクイティ収益は819億円、20%の増収です。特にエクイティ・プロダクトが好調で、日本は保有株の売却案件やユーロ円CB案件等が寄与し、大幅増収となりました。欧州・アジアも増収となっています。

続いてインベストメント・バンキングです。13ページをご覧ください。



収益は498億円、10%の増収で、比較可能な2017年3月期以降で最高の四半期収益となっています。海外3地域が増収、また日本は強かった前期からは減収ですが、引き続き、高い収益レベルを維持しています。

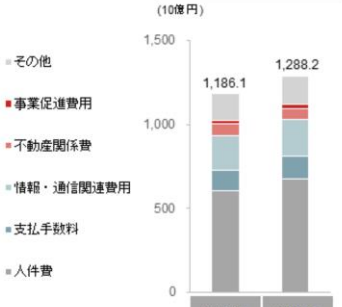
「アドバイザリー」も、好調だった前期からは減収ですが、右上にありますように、グローバル連携を活かしながら様々なクロスボーダー案件に関与しています。「ファイナンス、ソリューション等」は増収、ALFが回復基調にあること、また、海外ソリューション案件や国内における保有株式の売却案件も収益に貢献しています。

次にコストについてご説明します。14ページをご覧ください。

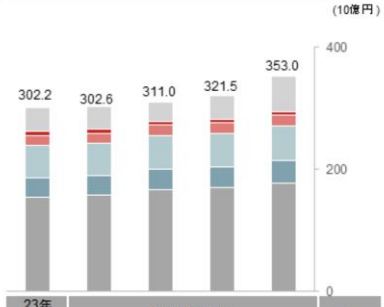
金融費用以外の費用

NOMURA

通期



四半期



	2023年3月期	2024年3月期	23年3月期 4Q	2024年3月期 1Q	2024年3月期 2Q	2024年3月期 3Q	2024年3月期 4Q	前四半期比
人件費	605.8	**673.5**	155.6	158.7	167.1	170.6	**177.1**	**3.8%**
支払手数料	119.2	**137.3**	30.3	31.4	34.3	34.3	**37.3**	**8.7%**
情報・通信関連費用	209.5	**217.1**	53.7	52.8	53.6	54.3	**56.3**	**3.7%**
不動産関係費	66.9	**68.7**	16.7	16.6	17.5	16.8	**17.8**	**6.0%**
事業促進費用	22.6	**24.2**	6.3	6.1	5.4	6.2	**6.5**	**6.2%**
その他	162.0	**167.2**	39.8	37.0	33.1	39.3	**57.9**	**47.5%**
合計	1,186.1	**1,288.2**	302.2	302.6	311.0	321.5	**353.0**	**9.8%**

決算のポイント

<通期>
- 金融費用以外の費用：1兆2,882億円 (前年比9%増)
  - 人件費(前年比11%増)
    - ✓ 円安進行に加え、業績に応じた賞与引当やインフレに伴う固定費増加等が影響
  - 支払手数料(前年比15%増)
    - ✓ 円安進行に加え、取引増加に伴って支払手数料も増加

<第4四半期>
- 金融費用以外の費用：3,530億円 (前四半期比10%増)
  - 人件費(前四半期比4%増)
    - ✓ 賞与引当は前四半期比で減少も、当社株の上昇を受けて繰延報酬制計上額が増加
  - 支払手数料(前四半期比9%増)
    - ✓ 取引増加に伴って支払手数料も増加
  - その他費用(前四半期比48%増)
    - ✓ 専門家報酬等が増加
    - ✓ 業者との取引における決済不履行に伴う貸倒引当(約140億円)の計上も影響

14

全社コストは3,530億円、10%の増加となりました。

人件費は1,771億円、4%の増加。賞与引当は減っていますが、先ほど申し上げた繰延報酬の増加が影響しています。

その他費用は579億円。ビジネスに関連した専門家報酬が増えていること、そして先ほどご説明した貸倒引当金約140億円がここに含まれています。

最後に、財務基盤です。15ページをご覧ください。

強固な財務基盤を維持

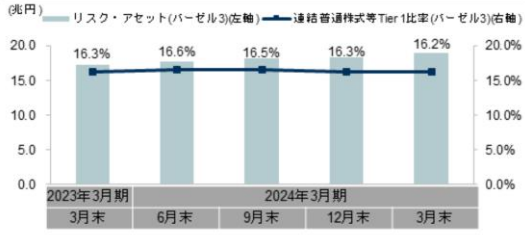
NOMURA

バランス・シート関連指標と連結総自己資本規制比率

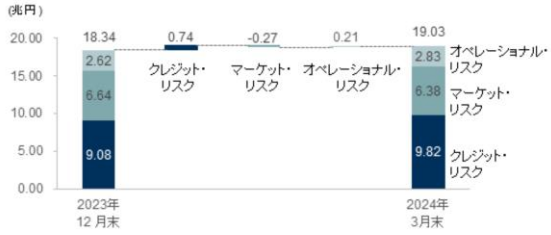
	2023年 3月末	2023年 12月末	2024年 3月末
■ 資産合計	47.8兆円	54.8兆円	55.1兆円
■ 当社株主資本	3.1兆円	3.3兆円	3.4兆円
■ グロス・レバレッジ	15.2倍	16.7倍	16.5倍
調整後レバレッジ[1]	9.4倍	10.5倍	10.2倍
■ レベル3資産[2] (デリバティブ負債相殺後)	0.9兆円	1.0兆円	1.0兆円
■ 流動性ポートフォリオ	7.6兆円	8.5兆円	8.4兆円

(10億円) バーゼル3ベース	2023年 3月末	2023年 12月末[3]	2024年 3月末[2]
Tier 1資本	3,204	3,372	3,465
Tier 2資本	0.4	0.4	0.4
総自己資本の額	3,204	3,372	3,465
リスク・アセット	17,324	18,345	19,025
連結Tier 1 比率	18.4%	18.3%	18.2%
連結普通株式等Tier 1比率[4]	16.3%	16.3%	16.2%
連結総自己資本規制比率	18.4%	18.3%	18.2%
連結レバレッジ比率[5]	5.63%	5.28%	5.24%
連格流動資産(HQLA)[6]	6.5兆円	6.4兆円	6.5兆円
連結流動性カバレッジ比率(LCR)[6]	203.8%	191.5%	202.7%
TLAC比率(リスクアセット・ベース)	31.7%	32.8%	32.9%
TLAC比率(総エクスポージャーベース)	10.6%	10.3%	10.4%

リスク・アセット、連結普通株式等Tier 1比率[4]



リスク・アセットの変動[2]



1. 調整後レバレッジは、総資産の額から売買手形買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率
2. 2024年3月末は暫定数値
3. リスク・アセットの金額を暫定算出しており、今後、変更する可能性があります
4. 連結普通株式等Tier 1比率: Tier 1資本から、その他Tier1資本を控除し、リスク・アセットで除したもの
5. Tier 1資本を、エクスポージャー額(オンバランス項目+オフバランス項目)で除したもの
6. 四半期末の日次平均の値

15

左下のテーブルにあるTier 1資本は約3.5兆円、リスク・アセットは19兆円となり、Tier 1比率は18.2%、普通株式等Tier 1比率は16.2%と、引き続き、十分な資本水準を維持しています。
以上、第4四半期決算についてご説明申し上げました。

最後になりますが、今期も日本市場における構造的な変化を追い風に、マザーマーケットを起点とした強みや、海外ビジネスでの収益機会を活かし、各ビジネス部門で着実な成果を残すことができました。

2024年に入って日経平均株価は史上最高値を更新し、新NISAの開始や物価上昇等を受けて、個人マネーの「貯蓄から資産形成の流れ」も本格化しています。当社経由のNISA買付額は、僅か3か月間で、昨年1年間の買付額に匹敵する規模になりました。2月は、当社のコンタクトセンターへの問い合わせが、一日で5万件を超える日もあり、投資に対する関心が、とてつもなく大きくなっていると感じます。

今月、営業部門はビジネスの実態に合わせて、部門名を「ウェルス・マネジメント部門」に改称しました。4月に入って株式市場は調整局面を迎えていますが、不透明な市場環境だからこそ、情報やアドバイスの付加価値がより高まり、当社の役割は増すと考えています。市場に向き合いながら、包括的な資産管理サービスを提供することで、収益面でも、好調だった第4四半期の水準を維持しています。

ホールセール部門では、マーケットの回復局面で収益のアップサイドを取れるフランチャイズを、確認することができました。証券化商品やエクイティ・プロダクト、リスクライトなビジネスであるインベストメント・バンキングやアジア富裕層ビジネスからの収益も拡大し、収益の分散化も進んでいます。第4四半期の部門収益・約2,500億円は円安で大きめに出ていますが、為替の影響を除くドルベースでみても、各国中銀が金融引き締めを開始した2年前の水準を回復しました。4月足元も、金利、クレジット、米州のエクイティ・プロダクトを中心にビジネスは堅調で、第4四半期の収益レベルを維持できており、業績モメンタムは継続しています。

同時にコスト・コントロールも、手を緩めずにやって行きます。営業部門の200億円のコスト削減目標については、2025年3月末までにすべて完了する目途がついており、ホールセール部門についてもフロントやコーポレート部門のさまざまなコスト削減プログラムを進めることで、戦略的な採用やインフレによる固定費の増加を、ほぼ相殺することが出来ています。今後も、構造改革の取り組みを進めることでコストはタイトに運営していく所存です。

野村グループは、来年12月に創立100周年を迎えるにあたり、創業の精神や企業理念を受け継ぎながら、次の100年につながるグループ経営の基礎となるパーパスを策定しました。
「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」。
その達成に向け、グローバルに競争力のある事業に注力し、部門間協働による付加価値の追求や成長分野への積極的な投資、コスト・コントロールの徹底により、企業価値の向上および持続的成長を実現させていきます。

今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

NOMURA

Financial Supplement

バランス・シート関連データ

NOMURA

連結貸借対照表

(10億円)

	2023年 3月末	2024年 3月末	前期比 増減
資産			
現金・預金	4,521	**5,155**	634
貸付金および受取債権	5,207	**6,834**	1,627
担保付契約	18,117	**20,995**	2,877
トレーディング資産および プライベートエクイティ・デット投資[1]	17,609	**19,657**	2,047
その他の資産[1]	2,317	**2,507**	190
資産合計	47,772	**55,147**	7,375

	2023年 3月末	2024年 3月末	前期比 増減
負債			
短期借入	1,009	**1,055**	46
支払債務および受入預金	5,297	**6,490**	1,193
担保付調達	16,109	**19,397**	3,288
トレーディング負債	10,558	**10,891**	333
その他の負債	1,176	**1,415**	239
長期借入	10,399	**12,452**	2,053
負債合計	44,548	**51,699**	7,151
資本			
当社株主資本合計	3,149	**3,350**	202
非支配持分	76	**98**	23
負債および資本合計	47,772	**55,147**	7,375

1. 担保付入金銀行預金を含む

バリュー・アット・リスク

NOMURA

- VaRの前提
  - 信頼区間 ： 95%
  - 保有期間 ： 1日
  - 商品の価格変動等を考慮

- VaRの実績(10億円)
  - 期間 ： 2023.4.1～2024.3.31
  - 最大 ： 6.8
  - 最小 ： 4.3
  - 平均 ： 5.6

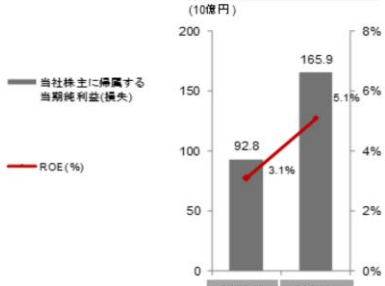
(10億円)

	2023年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2024年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
株式関連	3.3	**3.3**	3.3	3.2	3.0	3.6	**3.3**
金利関連	4.7	**2.6**	4.7	4.6	3.5	2.8	**2.6**
為替関連	1.4	**2.1**	1.4	2.3	1.7	2.3	**2.1**
小計	9.4	**8.0**	9.4	10.1	8.2	8.7	**8.0**
分散効果	-3.2	**-2.5**	-3.2	-3.9	-2.7	-2.9	**-2.5**
連結VaR	6.2	**5.5**	6.2	6.2	5.5	5.8	**5.5**

連結決算概要

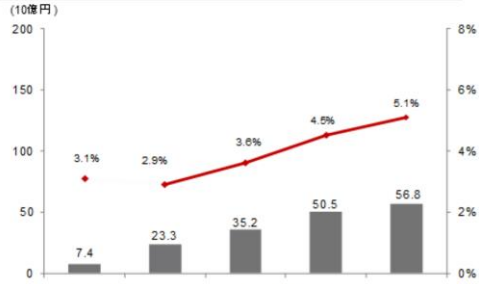
NOMURA

通期



	2023年3月期	2024年3月期
収益合計(金融費用控除後)	1,335.6	**1,562.0**
税引前当期純利益(損失)	149.5	**273.9**
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	92.8	**165.9**
当社株主資本合計	3,148.6	**3,350.2**
ROE(%)[1]	3.1%	**5.1%**
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	30.86	**54.97**
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	29.74	**52.69**
1株当たり株主資本(円)	1,048.24	**1,127.72**

四半期



2023年3月期	2024年3月期			
4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
324.9	348.9	367.8	400.2	**445.1**
22.7	46.3	56.7	78.7	**92.1**
7.4	23.3	35.2	50.5	**56.8**
3,148.6	3,265.4	3,291.4	3,279.5	**3,350.2**
3.1%	2.9%	3.6%	4.5%	**5.1%**
2.46	7.71	11.61	16.77	**18.92**
2.34	7.40	11.21	16.10	**18.02**
1,048.24	1,071.38	1,092.03	1,087.95	**1,127.72**

1. *四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出*

連結損益

NOMURA

(10億円)	通期		四半期				
	2023年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2024年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
収益							
委託・投信募集手数料	279.9	**364.1**	63.8	82.8	88.9	85.7	**106.7**
投資銀行業務手数料	113.2	**173.3**	28.0	31.1	38.6	55.2	**48.3**
アセットマネジメント業務手数料	271.7	**310.2**	67.4	71.8	76.7	77.5	**84.2**
トレーディング損益	563.3	**491.6**	118.3	115.6	116.6	125.1	**134.4**
プライベートエクイティ・デット投資関連損益	14.5	**11.9**	5.3	6.9	1.1	1.9	**2.0**
金融収益	1,114.7	**2,620.9**	435.5	549.7	658.5	686.3	**726.4**
投資持分証券関連損益	-1.4	**9.6**	1.2	4.8	2.8	-3.4	**5.4**
その他	130.9	**175.8**	51.4	30.8	29.5	52.1	**63.4**
収益合計	2,486.7	**4,157.3**	770.7	893.4	1,012.7	1,080.5	**1,170.8**
金融費用	1,151.1	**2,595.3**	445.7	544.4	644.9	680.3	**725.7**
収益合計(金融費用控除後)	1,335.6	**1,562.0**	324.9	348.9	367.8	400.2	**445.1**
金融費用以外の費用	1,186.1	**1,288.2**	302.2	302.6	311.0	321.5	**353.0**
税引前当期純利益(損失)	149.5	**273.9**	22.7	46.3	56.7	78.7	**92.1**
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	92.8	**165.9**	7.4	23.3	35.2	50.5	**56.8**

連結決算：主な収益の内訳

NOMURA

	(10億円)	通期 2023年3月期	通期 2024年3月期	四半期 2023年3月期 4Q	四半期 2024年3月期 1Q	2024年3月期 2Q	2024年3月期 3Q	2024年3月期 4Q
委託・投信募集手数料	委託手数料-株式	190.8	**242.7**	41.3	55.2	58.3	56.4	**72.7**
	委託手数料-株式以外	17.9	**15.6**	4.0	4.0	4.0	3.9	**3.8**
	投信募集手数料	30.3	**56.2**	8.0	13.4	14.0	13.1	**15.7**
	その他手数料	41.0	**49.5**	10.4	10.1	12.6	12.3	**14.5**
	合計	279.9	**364.1**	63.8	82.8	88.9	85.7	**106.7**
投資銀行業務手数料	株式	18.9	**45.5**	5.4	4.5	13.1	17.9	**9.9**
	債券	21.1	**27.5**	5.4	5.3	5.2	7.9	**9.0**
	M&A・財務コンサルティングフィー	53.9	**61.6**	11.3	13.6	10.0	21.0	**17.0**
	その他	19.3	**38.8**	5.7	7.6	10.3	8.4	**12.4**
	合計	113.2	**173.3**	28.0	31.1	38.6	55.2	**48.3**
アセットマネジメント業務手数料	アセットマネジメントフィー	171.3	**193.5**	42.6	45.2	47.6	48.1	**52.5**
	アセット残高報酬	76.2	**88.2**	18.6	20.0	22.0	22.2	**23.9**
	カストディアルフィー	24.2	**28.5**	6.2	6.6	7.0	7.2	**7.7**
	合計	271.7	**310.2**	67.4	71.8	76.7	77.5	**84.2**

連結決算：セグメント情報と地域別情報　税前利益(損失)

NOMURA

連結決算数値とセグメント数値間の調整：税前利益(損失)

(10億円)	通期 2023年3月期	通期 2024年3月期	四半期 2023年3月期 4Q	四半期 2024年3月期 1Q	四半期 2024年3月期 2Q	四半期 2024年3月期 3Q	四半期 2024年3月期 4Q
営業部門	33.5	**122.7**	9.8	22.9	29.0	31.9	**38.8**
インベストメント・マネジメント部門	43.5	**60.2**	16.4	3.6	23.2	15.6	**17.8**
ホールセール部門	29.4	**53.9**	-14.2	2.1	8.3	23.0	**20.6**
3セグメント合計税前利益	106.4	**236.8**	11.9	28.7	60.5	70.5	**77.1**
その他	73.4	**47.4**	15.7	21.9	-6.5	21.2	**10.8**
セグメント合計税前利益	179.7	**284.2**	27.6	50.6	54.1	91.7	**87.9**
営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-30.3	**-10.3**	-4.9	-4.3	2.7	-13.0	**4.2**
税前利益(損失)	149.5	**273.9**	22.7	46.3	56.7	78.7	**92.1**

地域別情報：税前利益(損失)[1]

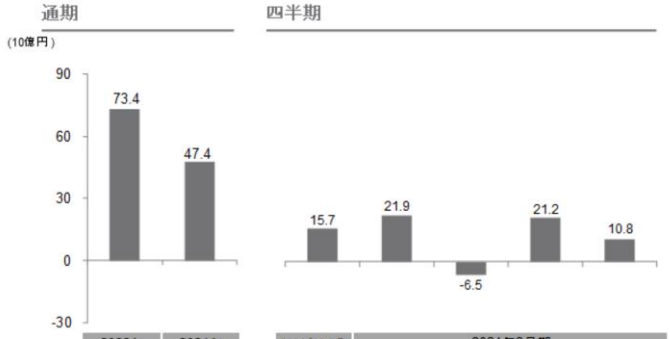
(10億円)	通期 2023年3月期	通期 2024年3月期	四半期 2023年3月期 4Q	四半期 2024年3月期 1Q	四半期 2024年3月期 2Q	四半期 2024年3月期 3Q	四半期 2024年3月期 4Q
米　州	-51.7	**14.7**	-16.6	-19.9	13.1	7.1	**14.3**
欧　州	9.2	**-33.1**	-3.6	-5.9	-9.2	0.8	**-18.8**
アジア・オセアニア	31.0	**23.8**	8.7	1.9	2.5	10.1	**9.3**
海外合計	-11.5	**5.4**	-11.5	-23.9	6.5	18.0	**4.8**
日本	161.0	**268.5**	34.2	70.3	50.2	60.7	**87.3**
税前利益(損失)	149.5	**273.9**	22.7	46.3	56.7	78.7	**92.1**

1. *米国会計原則に基づく地域別情報を記載（但し当期4半期の数値は速報値）。米国会計原則に基づく地域別情報は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません*

セグメント「その他」

NOMURA

税前利益(損失)



	2023年3月期	2024年3月期	2023年3月期 4Q	2024年3月期 1Q	2024年3月期 2Q	2024年3月期 3Q	2024年3月期 4Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	-4.8	**2.0**	6.3	3.4	-8.9	7.6	**0.0**
営業目的で保有する投資持分証券の実現損益	28.4	**21.0**	6.2	8.2	0.0	11.8	**1.0**
関連会社損益の持分額	47.7	**46.4**	12.7	13.7	9.0	8.8	**14.9**
本社勘定	-12.6	**-12.0**	-7.8	1.9	1.4	-6.5	**-8.9**
その他	14.7	**-10.1**	-1.8	-5.3	-8.0	-0.5	**3.8**
税前利益(損失)	73.4	**47.4**	15.7	21.9	-6.5	21.2	**10.8**

営業部門関連データ(1)

NOMURA

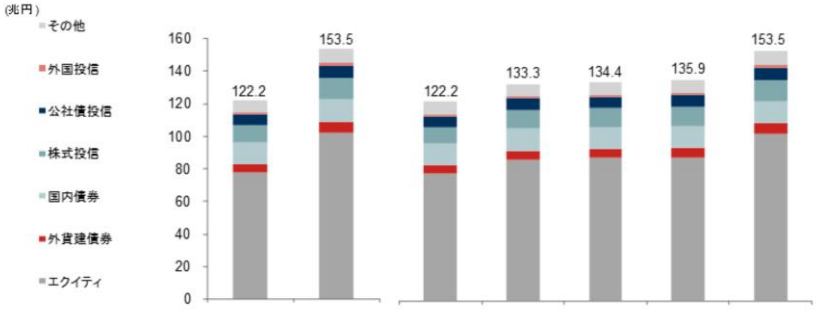
(10億円)	通期		四半期						
	2023年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2024年3月期				前四半期比	前年同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
委託・投信募集手数料	112.5	**173.5**	29.1	41.3	41.9	41.1	**49.1**	**19.4%**	**68.7%**
うち株式委託手数料	50.9	**80.2**	13.4	19.1	18.8	17.2	**25.1**	**46.5%**	**86.9%**
うち投資信託募集手数料	30.2	**54.9**	8.0	13.4	13.5	13.1	**15.0**	**14.5%**	**87.1%**
販売報酬	44.2	**55.9**	10.6	12.8	14.9	14.3	**14.0**	**-1.8%**	**32.1%**
投資銀行業務手数料等	16.2	**23.1**	4.2	3.8	5.1	9.1	**5.1**	**-44.3%**	**19.7%**
投資信託残高報酬等	108.1	**124.4**	26.6	28.4	31.0	31.2	**33.9**	**8.4%**	**27.4%**
純金融収益等	19.3	**25.5**	4.8	5.8	6.1	6.9	**6.7**	**-2.8%**	**40.1%**
収益合計(金融費用控除後)	300.2	**402.4**	75.3	92.1	98.9	102.6	**108.8**	**6.0%**	**44.4%**
金融費用以外の費用	266.7	**279.7**	65.5	69.1	69.9	70.7	**70.0**	**-1.0%**	**6.9%**
税前利益	33.5	**122.7**	9.8	22.9	29.0	31.9	**38.8**	**21.4%**	**294.2%**
国内投信販売金額[1]	2,111.0	**3,271.8**	478.0	726.7	820.5	757.6	**966.9**	**27.6%**	**102.3%**
株式投信	1,560.3	**2,525.9**	396.2	607.9	626.6	627.3	**664.0**	**5.9%**	**67.6%**
外国投信	550.7	**745.9**	81.8	118.8	193.9	130.3	**302.9**	**132.4%**	**270.4%**
その他									
個人向け国債販売額(約定ベース)	526.2	**398.9**	153.4	103.1	99.6	127.7	**68.5**	**-46.4%**	**-55.3%**
リテール外債販売額	949.6	**1,164.3**	269.7	234.1	381.9	271.1	**277.3**	**2.3%**	**2.8%**

1. *日本ット&コールを含む*

営業部門関連データ(2)

NOMURA

営業部門顧客資産残高



	2023年3月期 3月末	2024年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	2024年3月期 6月末	2024年3月期 9月末	2024年3月期 12月末	2024年3月期 3月末
エクイティ	78.0	**102.5**	78.0	86.6	87.7	87.9	**102.5**
外貨建債券	5.3	**6.4**	5.3	5.7	5.8	6.0	**6.4**
国内債券[1]	13.2	**13.7**	13.2	13.3	13.3	13.5	**13.7**
株式投信	10.2	**13.3**	10.2	11.3	11.2	11.9	**13.3**
公社債投信	6.8	**7.3**	6.8	7.2	7.1	7.1	**7.3**
外国投信	1.2	**1.8**	1.2	1.4	1.5	1.5	**1.8**
その他[2]	7.5	**8.6**	7.5	7.8	7.8	8.0	**8.6**
合計	122.2	**153.5**	122.2	133.3	134.4	135.9	**153.5**

1. CB・ワラントを含む　2. 年金保険契約投資関係商を含む

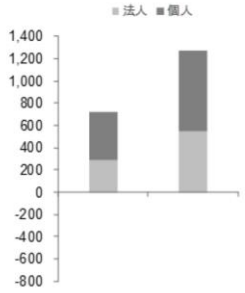
営業部門関連データ(3)

NOMURA

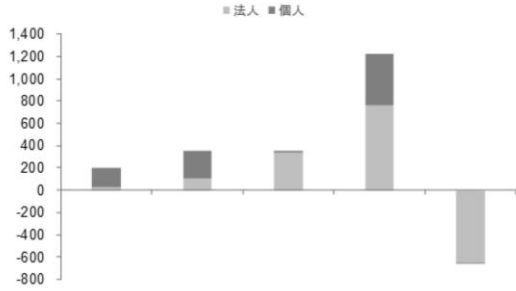
現金本券差引[1]

（10億円）

通期



四半期



	2023年3月期	2024年3月期
法人[2]	282	**548**
個人[3]	438	**725**
合計	720	**1,273**
入金預り[4]	4,057	**4,801**

2023年3月期	2024年3月期			
4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
27	108	331	756	**-647**
173	244	26	464	**-8**
200	352	357	1,220	**-656**
1,064	1,033	1,169	1,303	**1,297**

1. 現金および本券の投入から投出を差引
2. 法人預（地域金融機関を除く）、国内のウェルス・マネジメント・グループを含む
3. リテールチャネル、ネット&コール、仲介、銀証、ほっとダイレクトを含む。現金本券差引の定義を見直したことから、2024年3月期第1四半期の数字を修正。
4. リテールチャネルのみ対象

営業部門関連データ(4)

NOMURA

口座数

(千口座)	2023年3月期 3月末	2024年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	2024年3月期 6月末	2024年3月期 9月末	2024年3月期 12月末	2024年3月期 3月末
残あり顧客口座数	5,353	**5,496**	5,353	5,395	5,396	5,448	**5,496**
株式保有口座数	2,993	**2,972**	2,993	2,976	2,962	2,964	**2,972**
NISA開設口座数(累計)[1]	1,632	**1,780**	1,632	1,681	1,699	1,758	**1,780**
オンラインサービス口座数	5,208	**5,582**	5,208	5,297	5,377	5,476	**5,582**

個人新規開設口座数・IT比率[2]

(千口座)	通期 2023年3月期	通期 2024年3月期	四半期 2023年3月期 4Q	四半期 2024年3月期 1Q	四半期 2024年3月期 2Q	四半期 2024年3月期 3Q	四半期 2024年3月期 4Q
個人新規開設口座数	199	**334**	55	60	88	87	**99**
IT比率[2]							
売買件数ベース	85%	**84%**	85%	84%	84%	83%	**84%**
売買金額ベース	59%	**59%**	59%	58%	58%	59%	**59%**

1. ジュニアNISAを含む
2. 顧客様のうち、オンラインサービスを通じて売買された割合

インベストメント・マネジメント部門関連データ(1)

NOMURA

(10億円)	通期		四半期						
	2023年3月期	2024年3月期	2023年3月期 4Q	2024年3月期 1Q	2024年3月期 2Q	2024年3月期 3Q	2024年3月期 4Q	前四半期比	前年同期比
事業収益	120.7	**137.2**	28.7	32.5	33.4	33.3	**38.0**	**14.0%**	**32.2%**
投資損益	7.9	**16.9**	9.1	-6.0	11.7	5.6	**5.6**	**-0.9%**	**-38.7%**
収益合計(金融費用控除後)	128.6	**154.1**	37.8	26.5	45.1	38.9	**43.6**	**11.8%**	**15.1%**
金融費用以外の費用	85.1	**93.9**	21.5	22.9	21.9	23.3	**25.8**	**10.5%**	**20.1%**
税前利益(損失)	43.5	**60.2**	16.4	3.6	23.2	15.6	**17.8**	**13.9%**	**8.6%**

運用資産残高 – 会社別

(兆円)	2023年3月期 3月末	2024年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	2024年3月期 6月末	2024年3月期 9月末	2024年3月期 12月末	2024年3月期 3月末
野村アセットマネジメント	69.1	**91.0**	69.1	78.0	78.3	80.4	**91.0**
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント他	3.9	**5.6**	3.9	4.7	4.9	5.0	**5.6**
運用資産残高(グロス)[1]	73.0	**96.6**	73.0	82.7	83.2	85.5	**96.6**
グループ会社間の重複資産	5.7	**7.6**	5.7	6.6	6.7	7.0	**7.6**
運用資産残高(ネット)[2]	67.3	**89.0**	67.3	76.1	76.5	78.5	**89.0**

1. 野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産並びにインベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社の運用資産に対する第三者による投資額の合計
2. 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

インベストメント・マネジメント部門関連データ(2)

NOMURA

インベストメント・マネジメント部門 資金流出入 –ビジネス別[1]

(10億円)

	通期		四半期				
	2023年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2024年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
投資信託ビジネス	156	**1,845**	-358	649	475	-60	**780**
うちETF	-250	**473**	-221	42	266	-131	**296**
投資顧問・海外ビジネス他	-916	**1,915**	-134	1,064	118	385	**347**
資金流出入 合計	-760	**3,760**	-492	1,713	593	326	**1,128**

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア[2]

(兆円)

	2023年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2024年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
国内公募投信残高							
マーケット	166.2	**227.0**	166.2	187.5	189.1	196.9	**227.0**
野村アセットマネジメントシェア	27%	**26%**	27%	27%	27%	26%	**26%**
国内公募株式投信残高							
マーケット	152.2	**211.0**	152.2	171.7	173.4	181.3	**211.0**
野村アセットマネジメントシェア	25%	**25%**	25%	25%	25%	25%	**25%**
国内公募公社債投信残高							
マーケット	13.9	**16.0**	13.9	15.8	15.7	15.6	**16.0**
野村アセットマネジメントシェア	44%	**44%**	44%	43%	43%	44%	**44%**
ETF残高							
マーケット	63.3	**89.6**	63.3	72.8	73.1	74.9	**89.6**
野村アセットマネジメントシェア	44%	**43%**	44%	44%	43%	43%	**43%**

1. *運用資産残高(ネット)に基づく資金純出入*　2. *出所:投資信託協会*

ホールセール部門関連データ

NOMURA

(10億円)	通期		四半期						
	2023年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2024年3月期				前四半期比	前年同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	772.4	**866.1**	178.8	190.9	204.1	217.0	**254.2**	**17.2%**	**42.1%**
金融費用以外の費用	743.0	**812.2**	193.1	188.7	195.8	194.0	**233.6**	**20.4%**	**21.0%**
税前利益(損失)	29.4	**53.9**	-14.2	2.1	8.3	23.0	**20.6**	**-10.4%**	-

ホールセール部門 収益の内訳

(10億円)	通期		四半期						
	2023年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2024年3月期				前四半期比	前年同期比
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
フィクスト・インカム	402.4	**420.3**	87.5	97.4	96.9	103.5	**122.6**	**18.5%**	**40.1%**
エクイティ	253.9	**286.8**	61.8	63.0	73.8	68.2	**81.9**	**20.1%**	**32.5%**
グローバル・マーケッツ	656.3	**707.1**	149.3	160.4	170.7	171.6	**204.4**	**19.1%**	**37.0%**
インベストメント・バンキング	116.1	**159.0**	29.6	30.5	33.4	45.4	**49.8**	**9.7%**	**68.4%**
収益合計(金融費用控除後)	772.4	**866.1**	178.8	190.9	204.1	217.0	**254.2**	**17.2%**	**42.1%**

人員数

NOMURA

	2023年3月期 3月末	2024年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	2024年3月期 6月末	2024年3月期 9月末	2024年3月期 12月末	2024年3月期 3月末
日本	15,131	**14,870**	15,131	15,382	15,158	14,996	**14,870**
欧州	2,937	**3,053**	2,937	2,971	2,993	3,015	**3,053**
米州	2,387	**2,440**	2,387	2,426	2,486	2,458	**2,440**
アジア・オセアニア[1]	6,320	**6,487**	6,320	6,465	6,492	6,449	**6,487**
合計	26,775	**26,850**	26,775	27,244	27,129	26,918	**26,850**

1. インド(ボワイ・オフィス)を含む

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2024年3月期第4四半期に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があり、また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(https://www.nomura.com)、EDINET(https://info.edinet-fsa.go.jp/)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(https://www.sec.gov)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

NOMURA

Nomura Holdings, Inc.
www.nomura.com/jp/